



2025年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO・CCO 小野 亮  
(コード番号：3686 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 C F O 福 岡 和 貴  
(TEL. 03-3221-3990)

### 特定子会社の異動（株式譲渡）及び債権放棄に関するお知らせ

当社は、2025年8月14日開催の取締役会において、当社連結子会社であるちゅらっぷす株式会社（以下、「ちゅらっぷす」といいます。）の全株式を、ちゅらっぷすの代表取締役である中山法夫氏を含む5名に譲渡すること（以下、「本株式譲渡」といいます。）と共に、当社が有するちゅらっぷすへの貸付金140百万円の債権放棄を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、本株式譲渡に伴い、ちゅらっぷすは当社の特定子会社から外れることとなります。

#### 記

##### 1. 株式譲渡及び債権放棄の理由

当社グループは、IP（Intellectual Property）の新規開発から、ソーシャルキャラクター等のIPを活用したマーケティング・サービス、スマートフォンアプリ等の企画開発等、映像コンテンツの企画制作及びメディア展開プランの策定・実行までを総合的に手掛けるファスト・エンタテインメント事業を展開しております。

インターネット時代・ソーシャルメディア時代となった昨今の時代背景の中、「いつでも、どこでも、すぐに」楽しめる「手軽なエンタテインメント」への需要が高まる中、ファスト・フードやファスト・ファッションのように、スピード感をもって手軽で時節を反映したコンテンツを提供できることを強みとしております。

現在、当社グループの属するエンタテインメント業界においては、モバイルデバイスやSNS、動画配信サービスの普及により、コンテンツの視聴スタイルが一層多様化・短時間化しており、ユーザーは「スキマ時間」や「推し活」の一環としてアニメーションや動画コンテンツを日常的に楽しむようになってきました。とりわけ、推しのキャラクターや作品を中心に応援・共有する「推し活」は、視聴者の能動的な参加を促し、リアルイベントや物販、コラボレーション企画等を巻き込んだ消費行動へと拡大しています。こうした流れは、広告領域やセールスプロモーション施策においても新たな訴求力を生み出しており、アニメーション及びキャ

ラクターコンテンツへの需要は形を変えて新たな需要を生み出していると考えております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、IPを活用し、トレンド性や時事性を反映させた「ファスト・エンタテインメント」に強みを持ち、SNSで話題化しやすい短尺コンテンツやユニークな企画コンテンツを展開することで、ファンとの接点を多様化し、IPの価値最大化を図ってまいりました。

IP価値最大化の具体例として、既存IPを活用したプロモーション施策の営業活動に加え、外部IPとの連携による製作委員会の組成、新規IPの開発等による収益源の多角化を推進し、IPのライフサイクルに即した事業構造を模索してきました。また、将来的な利益獲得を目指し、ゲーム制作事業や配信プラットフォーム事業等IPコンテンツ事業以外への投資を行い、多角化事業政策を行ってきました。

その一方で、多角化が進み過ぎたことで、期待した投資の成果が得られない状況などが存在し、IP×テクノロジーという創業以来のコアビジネスに立ち戻り、大きく広がったビジネス領域の選択と集中を行っております。具体的には、2025年7月1日付けで公表いたしました

「新たな事業の開始に関するお知らせ」に記載のとおり、AI事業を今後の当社のビジネスの主軸として位置付けて展開していくことを決定しております。

ちゅらっぶすにつきましても、今後の成長戦略・事業戦略やグループにおける位置付け等の検討を進めておりました。ちゅらっぶすは2015年の創業以来、当社グループでゲーム制作事業を担う子会社として事業を拡大してきましたが、近年、ちゅらっぶすがメインの事業領域とするスマートフォン向けゲームアプリの競争環境は、ゲームの高品質化や開発費の高騰などもあり、厳しい状況が続いておりました。その結果として、ちゅらっぶすとしても債務超過の状態が続いており、当社からの貸付金についても、単体決算上、貸倒引当金の引当を行っております。このような状況を前提としたときに、今後の成長戦略・事業戦略の検討を行ってまいりましたが、安定的に収益を生み出せるようになるまでにはまだ時間を要する見込みであり、キャッシュ・フロー改善の見通しが立ちづらく、債務超過の継続も見込まれることから、他社への売却なども含めた選択肢の検討を行うに至りました。その検討過程において、ちゅらっぶすの代表取締役社長である中山法夫氏及び同社の従業員4名の計5名から、株式取得にかかる提案を受けるに至りました。当社グループとしてちゅらっぶすの今後の成長を描きづらかった一方で、現在の経営陣・従業員が中心となった体制に移行することが、ちゅらっぶすの企業価値の最大化及び当社グループにおけるちゅらっぶすからの投資回収の最大化につながると判断し、本株式譲渡の実行を決議するに至りました。

また、当社が有するちゅらっぶすへの貸付金150百万円のうち、140百万円については債権放棄を行うことが本株式譲渡の条件となっていることから併せて、債権放棄にかかる決議を行っております。

なお、本株式譲渡に伴い、当社から派遣している取締役2名及び監査役1名は本株式譲渡の実行と同時に辞任する予定です。

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	ちゅらっぷす株式会社		
(2) 所在地	沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 20-1		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中山法夫		
(4) 事業内容	スマートフォン向けゲームアプリの新規開発		
(5) 資本金	4,400 万円		
(6) 設立年月日	2015 年 7 月 1 日		
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の連結子会社です。	
	人的関係	当社職員及び関係者が当該会社の取締役 2 名を、当社職員が当該会社の監査役 1 名を兼務しております。	
	取引関係	営業上の取引及び当社から当該会社への金銭の貸付けがあります。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
純資産	△7 百万円	△70 百万円	△68 百万円
総資産	197 百万円	53 百万円	141 百万円
1 株当たり純資産	△2,195 円	△19,581 円	△19,059 円
売上高	566 百万円	312 百万円	239 百万円
営業利益	52 百万円	△58 百万円	2 百万円
経常利益	51 百万円	△58 百万円	2 百万円
当期純利益	44 百万円	△62 百万円	1 百万円
1 株当たり当期純利益	12,296 円	△17,386 円	523 円
1 株当たり配当金	- 円	- 円	- 円

## 3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 氏名	中山法夫
(2) 住所	沖縄県宜野湾市
(3) 上場会社と当該個人の関係	ちゅらっぷすの代表取締役社長

(1) 氏名	大久保磨
(2) 住所	東京都豊島区
(3) 上場会社と当該個人の関係	ちゅらっぷすの従業員

(1) 氏名	小菅 聡
(2) 住所	沖縄県那覇市
(3) 上場会社と当該個人の関係	ちゅらっぷすの従業員

(1) 氏名	永田 裕一
(2) 住所	沖縄県南城市
(3) 上場会社と当該個人の関係	ちゅらっぷすの従業員

(1) 氏名	比嘉 盛人
(2) 住所	沖縄県那覇市
(3) 上場会社と当該個人の関係	ちゅらっぷすの従業員

#### 4. 譲渡株式数、譲渡価額並びに譲渡前後の所有株式数及び議決権所有割合

(1) 譲渡前の所有株式数	3,600 株 (議決権所有割合: 100%)
(2) 譲渡株式数	3,600 株
(3) 譲渡価額	10 百万円
(4) 譲渡後の所有株式数	0 株 (議決権所有割合: 0%)
(5) 譲渡価額の算定根拠	ちゅらっぷすの過去及び将来の業績動向、今後の事業の成長性等を合理的に勘案の上、当事者間の協議及び交渉を経て決定しております。なお、本株式譲渡にあたって、第三者算定機関からの算定書は取得していません。

(注) 本株式譲渡にあたって、アドバイザー費用等は発生していません。

#### 5. 異動の日程

(1) 取締役会決議日	2025 年 8 月 14 日
(2) 株式譲渡契約締結日	2025 年 8 月 14 日
(3) 株式譲渡実行日	2025 年 8 月 14 日

#### 6. 今後の見通し

本日 2025 年 8 月 14 日付けで公表いたしました「営業外費用、特別利益及び特別損失の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

以 上